

サンプルパネルドライヤーW1000取扱説明書

この度は、進勇商事(株)のサンプルパネルドライヤーW1000をお買い上げ頂き、誠に有難うございます。

はじめに

- この取扱説明書はサンプルパネルドライヤーW1000の使用法と使用上の注意事項について記載しております。ご使用前には必ず取扱説明書を十分お読みの上、正しく御使用下さい。
- お読みになった後も必ず製品に近接して保存して下さい。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡し下さい。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかに当社、または特約店に御依頼下さい。
- 尚、品質、性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行う事が有ります。その際には、本書の内容及びイラストなどの一部が、本製品と一致しない場合が有りますので予め御了承下さい。
- ご不明な事や御気付きの事がございましたら、お買い上げの特約店、販売店に御相談下さい。
- |印付の下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので必ず御守り下さい。

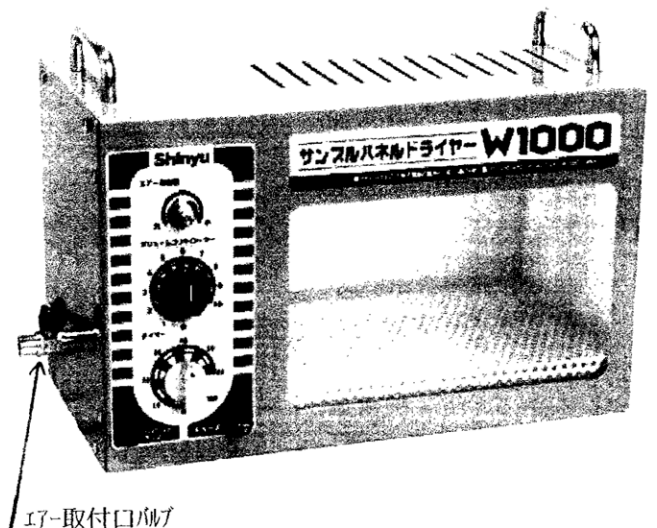
⚠注意

安全な取扱いに対する助言、あるいは適切な事前注意を払わなかった場合に障害または製品の重大な損傷に至る可能性があることをしめします。

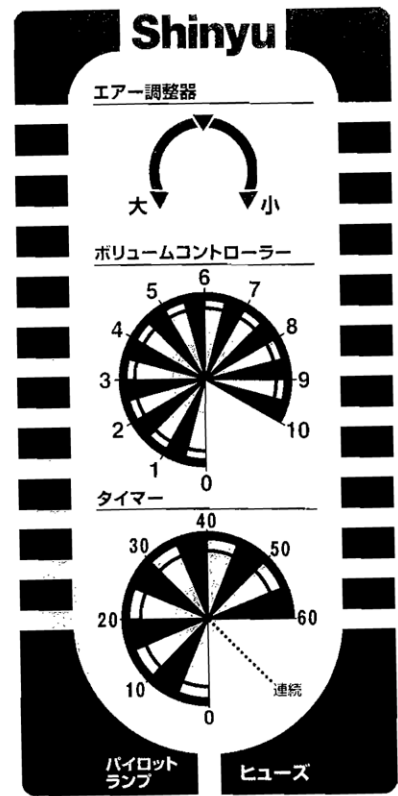
- (1)サンプルパネルドライヤーW1000は板状のテストピースの乾燥作業（塗料・パテ類など）に御使用下さい決して別の用途に使用しないで下さい。またお子様の手の届かない所に保管・管理して下さい。
- (2)サンプルパネルドライヤーW1000での乾燥作業は、必ず換気が十分に整った場所で行って下さい。密閉された部屋もしくは換気が不十分な場所で作業されますと、乾燥塗料により有機溶剤が充満しますと火災・爆発の危険性がありますので決してこういった場所での使用をしないで下さい。
- (3)紙や布、有機溶剤などの燃えやすいものの近くでの使用は決して行わないで下さい。火災、爆発の危険性があります。
- (4)電球のガラス球内部のガス圧力が高いため、ぶついたり、無理な力を加えたり、キズをつけたりしないで下さい。破裂する恐れがあります。
- (5)点灯中、大きな振動・衝撃は与えないで下さい。電球のガラス面にフィラメントが接触し、電球切れや電球破裂の原因となります。
- (6)点灯中、決して庫内に手を入れないで下さい。火傷や障害の原因となります。
- (7)点灯中や消灯直後は器具の上部金属部、庫内や電球ガラス部は絶対に触らないで下さい。火傷等の原因となります。
- (8)電球の取付け、取外しや器具の清掃のときは、必ず電源プラグをコンセントより抜いてから行って下さい。感電の危険性があります。
- (9)サンプルパネルドライヤーWを部品不足のままや、変造・改造などをして御使用にならないで下さい故障等の原因となります。
- (10)サンプルパネルドライヤーW1000専用電球は消耗品です、サンプルパネルドライヤーW1000には必ずサンプルパネルドライヤーW1000専用電球を使用して下さい。故障の原因となります。

取扱方法

- ①初回はエア調整器を「小」方向に全閉し、本体左側のエア取付口バルブも全閉してからエア取付口に圧縮エアホースをつないで下さい。
- ②タイマーが「0」状態であることを確認したのち電源プラグをコンセントに差し込んで下さい。
- ③ボリュームコントローラーを任意の位置(4~10)に合わせ温度調節をして下さい。(0=無点灯)
- ④テストピース(塗板状)を乾燥棚の上に静かに置いて下さい。
- ⑤ゆっくりタイマーを任意の時間に合わせます。これで電球が点灯し、パイロットランプが点灯します。もし、パイロットランプが点灯し本体電球が点灯しない場合はボリュームコントローラーの調節位置を確認して下さい。(10=全点灯)

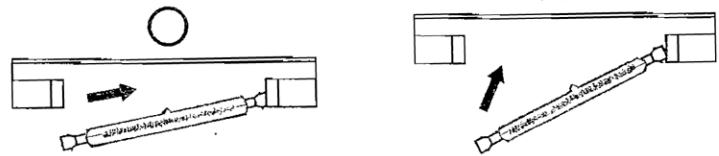


- ⑥エアー取付口バルブを全開しエアー調整器を「大」方向に回し任意の風量調節をして下さい。
- ⑦タイマーが切れた時点でエアー取付口バルブを全閉し、終了します。
- ⑧通常使用する場合は上記③～⑦を繰り返し、③⑤⑥で塗料・色・気温・湿度等により調節してください。
- ⑨塗料の種類により温風を使用しない場合は、⑥を抜いた③～⑦でご使用下さい。



電球取替方法

- ①器具及び電球が冷えたのを確認の後、電源プラグをコンセントより抜いて下さい。
- ②右下図面のように電球を片方に強く押し付け、引き出して下さい。
- 注意・電球はガラス製ですので落としたり無理をして壊さないようにして下さい。ケガの原因となります。
- ③新しい電球と交換して下さい。
- 注意・電球のガラス表面は、なるべく直接素手で触らないで下さい。汚れやシミ等が付着しますと電球寿命が短くなります。また、電球中央の凸部を上に向けて取付けて下さい。
- ④電球両端の接点部分が確実にソケット接点に入っているか確認して下さい。
- ⑤取替完了です。



ご使用上の注意

- ①供給エアー等で水滴のかかる状態や高湿度下での使用はしないで下さい。故障の原因となります。
- ②点灯中、大きな振動・衝撃は与えないで下さい。電球のガラス面にフィラメントが接触し、電球切れや電球破裂の原因となります。
- ③点灯中、決して庫内に入手を入れないで下さい。火傷や障害の原因となります。
- ④点灯中や消灯直後は器具の上部金属部、庫内や電球ガラス部は絶対に触らないで下さい。火傷等の原因となります。
- ⑤電球への電気供給結線は直結接続で使用しないで下さい。火災、火傷、電球不良の原因となります。

故障と思われる場合のチェック

No.	現象	考えられる原因・対策
1	電源が入らない。	①電源コードがコンセントに接続されていない。 ②電源コンセントのブレーカーがOFFになっている。 ③本体ヒューズが切れている。
2 3	ボリュームコントローラーが作動しない。 タイマーが作動しない。	①つまみが滑って回っていない場合はつまみをご購入下さい ②上記以外の理由で作動しない場合は、修理としてお出し下さい。
4	ランプが点灯しない	①ボリュームコントローラー調整位置が(0～3)になっている ②タイマー指示が「0」になっている ③電球接点を外れている。(電球取替方法)を参考に点検して下さい。 ④電球が切れている。(電球取替方法)を参考に交換して下さい。

